

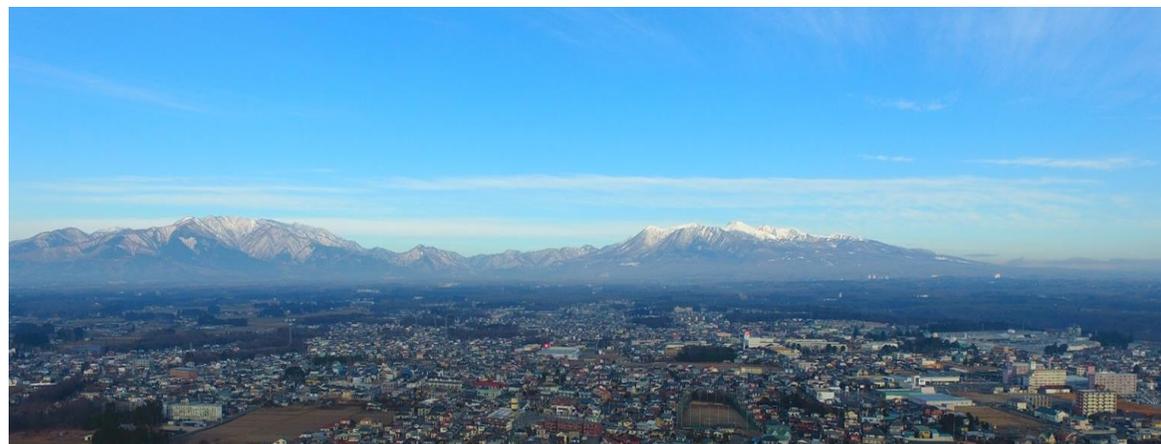
令和6(2024)年度

那須塩原市市政運営方針



令和6(2024)年2月

那須塩原市長 渡辺 美知太郎



1 はじめに

「住んでいれば生き延びられる」那須塩原市

実現に向け

3つの視点から市政運営に取り組む

地方分散の受け皿

那須塩原市のブランディング

資源と経済の地域内循環

相乗効果

なすしおばらLife



那須塩原駅周辺整備



体現する場
として結実

2 令和5年度の総括

◆コロナ後の那須塩原市をつくる取組

▶ 後期基本計画の重点推進テーマに基づく施策を推進

◆ 世界情勢や異常気象に翻弄される市民レベルの経済的課題への対応として各種の緊急支援を実施

◆ 5類移行により全国的に顕在化するコロナ後の課題にも柔軟に対応（子どもたちの体力低下・不登校、高齢者のフレイル等）



令和5年度に開校した施設一体型義務教育学校「箒根学園」



EcoNastation
エコナステーション



2 令和5年度の総括

(1) 重点推進テーマに基づく施策

◆ 「ニューノーマル」

- ▶ 新型コロナウイルス感染症対策
- ▶ 地域共生社会の推進

本市の先進的な環境
施策が国際的に注目
G7広島サミット、
COP28で紹介

◆ 「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」

- ▶ データ連携基盤の構築と接続するアプリケーションを順次リリース
- ▶ 窓口サービスの利便性向上
- ▶ スマート公民館の拡大
- ▶ 高齢者の孤立化防止やフレイル予防対策

ネイチャーポジティブ宣言
としても位置づけ
自治体では県内初
全国で3番目

◆ 「ゼロカーボン」

- ▶ 「2050 Sustainable Vision那須塩原～環境戦略実行宣言～」を公表
- ▶ 青木地区ゼロカーボン街区構築
- ▶ 地域新電力会社による電力供給開始
- ▶ 省エネルギー住宅補助制度の創設
- ▶ プラスチック資源循環促進

◆ 「県北拠点づくり」

- ▶ 八芳園と連携した農畜産物PRイベント
- ▶ ONSEN・ガストロノミーウォーキング
- ▶ 那須塩原駅周辺まちづくりを官民連携で推進する体制を構築



八芳園プロデュースイベント
ミルクからさらに広がる新しい体験

2 令和5年度の総括

(2) その他の主要施策

◆ スポーツ・健康まちづくり

▶ スポーツコミッション設立

スポーツ・健康まちづくり
優良自治体表彰2023を受賞



小学校サッカー合宿の受入（青木サッカー場）

◆ 海外との連携

▶ 台湾・ベトナムの海外トップセールス

▶ 姉妹都市リンツ市との中学生海外交流事業の再開

万博国際交流プログラムモデル事業
に選定（2年連続）

◆ 子育て支援・教育

▶ 子育て相談課を新設

▶ 子ども食堂など地域の子育て活動への支援

▶ 公立保育園への保育支援システム導入

▶ 文科省「子供の体験活動推進宣言」に賛同（自治体として県内初）

▶ ICT活用による授業、ALT全校配置、学校施設の整備など



子ども食堂など地域の子育てを支援



中学生海外交流事業：日本文化の紹介、ウィーンでの研修の様子



3 令和6年度市政運営方針の基本的な考え方①

国の現在の状況

- 新型コロナウイルス感染症が5類に移行、社会活動が戻りつつある
- 南海トラフ地震への懸念等、依然、東京一極集中の是正と地方分散の意識は継続
- 緊迫する海外情勢、能登半島地震など 国内経済の混乱継続
- 気候変動 自然災害の頻発激甚化、農作物の安定供給に悪影響
- 少子化・高齢化 生産人口の減少がもたらす地域経済の縮小

本市の現状

- 転入者・転出者の推移 ここ6年間転入超過が継続
- 移住相談件数 1.5倍
- ふるさと納税 過去最高額を更新（令和4年度）

那須塩原市の魅力を全国に発信

多くの方に選んでもらい、住んでもらうチャンス

移住定住人口・関係人口の増を目指し、
地方分散の受け皿になる「持続可能なまち」に

3 令和6年度市政運営方針の基本的な考え方②

移住定住人口・関係人口の増を目指し
地方分散の受け皿になる「持続可能なまち」とするため

3つの視点から市政運営に取り組む

地方分散の受け皿

那須塩原市のブランディング

資源と経済の地域内循環

- 様々な分野でのDX、先進的な環境施策によるエネルギーと経済の地域内循環、災害対応力の強化などによる「持続可能なまち」の構築を推進
- 観光・農業などの特徴ある産業の振興など各分野の施策についても環境施策を軸として、相互に連動 ⇒ 那須塩原らしい、付加価値の高い取組を展開
- 「普段何気なく過ごしている暮らしの魅力の再発見」と「那須塩原らしい付加価値の高い取組」の相乗効果

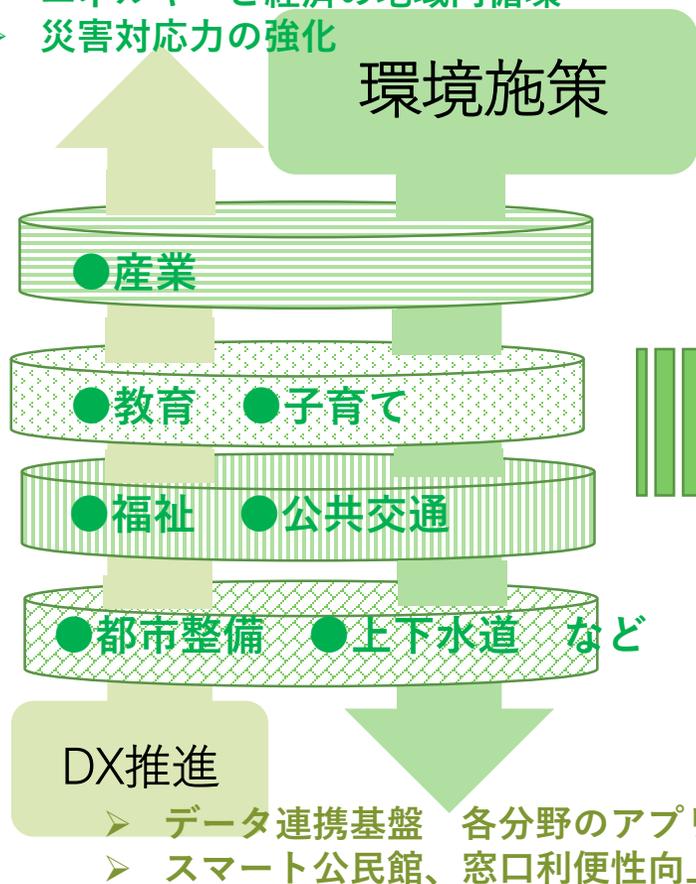
持続可能で豊かな暮らしがある「なすしおぼらLife」を際立たせ、
那須塩原駅周辺エリアで体現

多様な関係者との連携により進める中で那須塩原市をブランディング

3 令和6年度市政運営方針の基本的な考え方③

地方分散の受け皿になる「持続可能なまち」

- ネイチャーポジティブ・カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーによる相乗効果
- エネルギーと経済の地域内循環
- 災害対応力の強化



普段何気なく過ごしている
暮らしの魅力

再発見

持続可能で豊かなくらしがある
「なすしおばらLife」を体現する
那須塩原駅周辺エリア

那須塩原市のブランディング
移住定住人口や関係人口の増につなげる

4 令和6年度の主要施策

第2次那須塩原市総合計画後期基本計画で本市の将来像を具現化する方向性として位置付けた4つの重点推進テーマを分野を横断して多くの事業に有効に取り入れ「住んでいれば生き延びられる」那須塩原市の実現に向けた取組を進める。

重点推進テーマ



ニューノーマル（新たな社会）

- 時代の変化に柔軟に適応した安全安心なまち



デジタル・トランスフォーメーション（DX）

- 未来技術を活用した利便性の高いまち



ゼロカーボン

- 豊かな自然と共生し資源や経済が地域内循環する持続可能なまち



県北拠点づくり

- 那須塩原駅周辺を中心とした人々から選ばれる魅力あふれるまち

- 令和6年度の予算編成 重点推進テーマ等に紐づく事業に優先的に予算付け
- 組織機構改編

「2050 Sustainable Vision那須塩原」を推進するため「環境戦略部」新設
スポーツ・健康・文化と観光の連携を推進するため「ツーリズム推進課」新設

4 令和6年度の主要施策

(1) 那須塩原駅周辺まちづくり



市民「なすしおばらLife」を体現する空間
再（また）訪れたいくなるような心地よい空間
那須地域・県北の玄関口として相応しい魅力的な空間

創出

魅力創出と資源誘引
好循環を
那須地域全体に

▶ 那須塩原駅周辺まちづくり基本計画策定（R6～R7）

- 那須塩原駅周辺まちづくりビジョンを具体化するために必要な事業をハード・ソフトの両面から規定
- 市民・事業者等を交えた「那須塩原駅周辺まちづくり協議体」等での議論・検討を重ね、計画に反映



▶ 新庁舎建設（R6実施設計）

- 駅周辺まちづくりの重要な構成要素として建設
- 行政機能だけでなく、市民が集うシティホールとして作り上げる



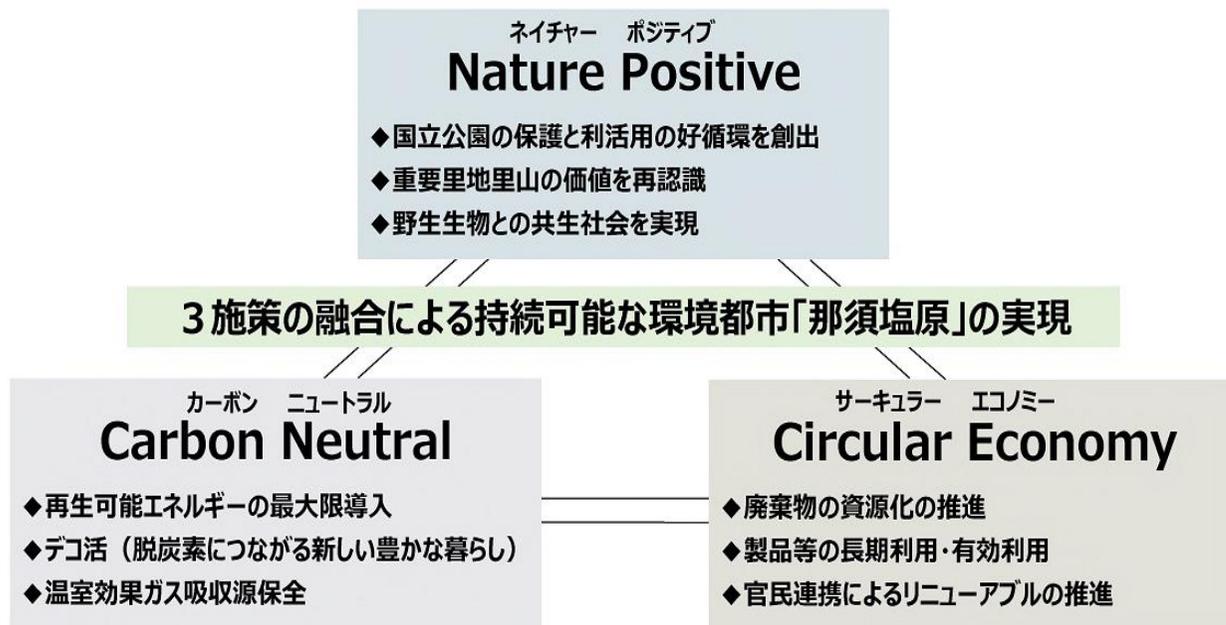
4 令和6年度の主要施策



(2) 「2050 Sustainable Vision 那須塩原～環境戦略実行宣言～」の推進

- ① ネイチャーポジティブ（生物多様性の回復）
- ② カーボンニュートラル（脱炭素社会の実現）
- ③ サーキュラーエコノミー（循環社会への移行）

3つの環境施策を柱として
推進しつつ、
相互連携による相乗効果
（シナジー）を創出



▶ 第2期那須塩原市環境基本計画改定

「2050 Sustainable Vision 那須塩原」の実現に向け、具体的な施策や指標を設定

4 令和6年度の主要施策

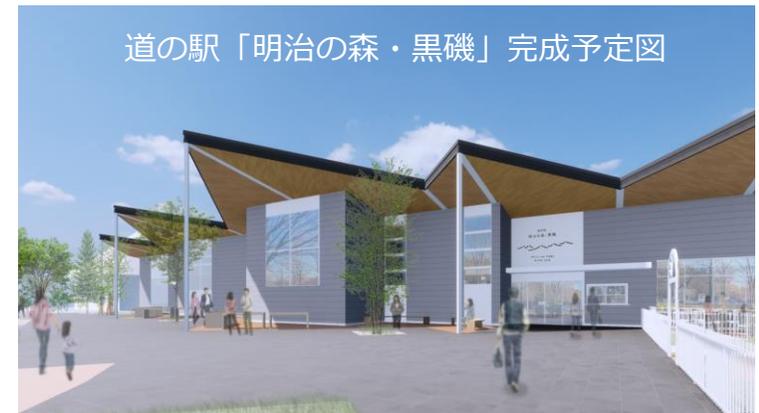
(3) その他主要施策 【①魅力創出・発信】

那須塩原駅周辺まちづくりと連動し、
市の魅力を向上させ、積極的に発信する取組を推進

- ▶ **シティブランディング**  市全体のブランディングに向けた調査・研究
数ある自治体の中から本市が選ばれるため、市の強みを的確に捉え、
戦略的に打ち出していく
- ▶ **道の駅「明治の森・黒磯」リニューアルオープン** 
食・農・観光の発信拠点
- ▶ **移住・定住促進** 
移住に向けたPR、移住相談・現地案内、
移住・定住に向けたサポート



オーダーメイドの現地案内、移住者交流会などの移住定住支援



道の駅「明治の森・黒磯」完成予定図

4 令和6年度の主要施策

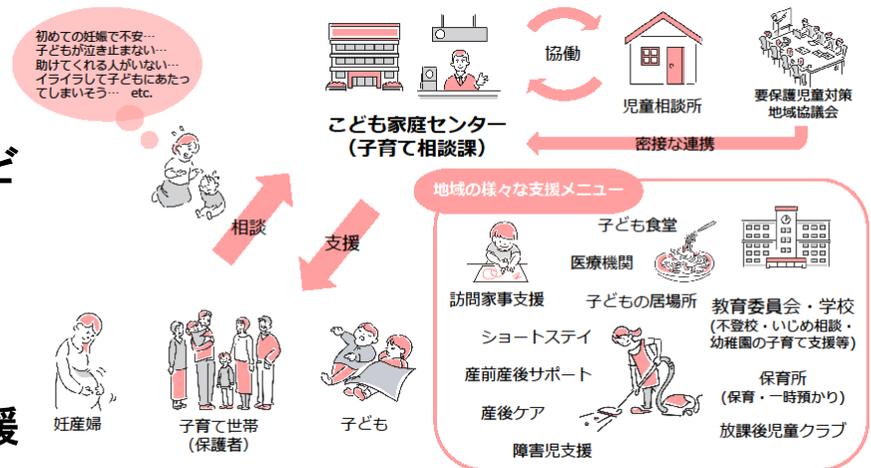
(3) その他主要施策 【②安心・安全】

すべての子どもたちが健やかに成長できる環境や支援の充実、
すべての人が安全・安心に暮らせる地域づくりを推進

▶ **こども家庭センターの設置** 
児童福祉と母子保健の機能を統合した
子育て世帯の包括的支援体制の強化
相談業務事務のシステム化、訪問支援の充実など

▶ **地域共生社会の推進** 
包括的相談支援、社会参加への支援、
支え合いの地域づくりなど、
市民の支援ニーズに一体的に対応する重層的支援

▶ **災害対応力の強化** 避難所の環境や備蓄物資の備えなどを強化



(3) その他主要施策 【③持続可能】

行財政改革推進計画・DX推進戦略・協働のまちづくり指針に基づき
持続可能な行財政運営を推進

▶ **ふるさと寄附推進**  財源の確保

5 むすびに

これまで、市民の「安全・安心」と「暮らしを守ること」を最優先に、新型コロナウイルス感染症への対応を推進してまいりました。一方で、先進的な環境施策やDXに向けたデジタル化など、分散型社会の到来に向けた受け皿づくりの「種まき」を行ってきました。

今後は「**選ばれるまち**」への**更なる発展期**としてまいります。そのためには、那須地域の財産である那須塩原駅周辺をもっと魅力のあるエリアとする必要があります。また、本市の施策の軸としている環境施策については、市町村レベルだからこそ取り組む意義があります。**サステナブルな産業や暮らしは、子どもたちの将来を守り、本市の価値を高める**ものであります。今後展開する施策を本市のブランディングに繋げ、**選ばれるまち**としていくため全力で取り組んでまいります。

これまで、多くの市民や企業の皆様の御協力と御理解を賜り、さまざまな困難を乗り越えられたことが、誇りであり自信につながっております。この信頼感と絆を大切に、**いつまでも住み続けられる持続可能なまちづくり**を市民の皆様とともに進めてまいります。

